

持病のコントロールや歯科受診、禁煙…

事前準備で手術の成功率高く

九州大病院別府病院の治療・研究
からだを
読み解く

▶ 12 ◀



麻酔科医員
柳橋 遼

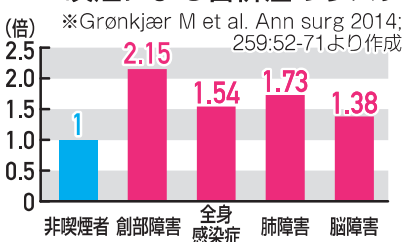
「手術は成功ですか？」

という質問は、医療ドラマなどでよく聞かれます。実際、麻酔から覚めた直後に患者さんから聞かれることもあります。その時点で手術は「成功」していたとしても、その後にはひどい肺炎になったり、体力が大きく落ちてなかなか退院できなかったりすると、本当の意味で「成功」とは言えないでしょう。今回は、麻酔科医の視点から手術を「成功」させるために押さえておくべきポイントを紹介いたします。

手術を受ける場合は必ず麻酔が必要ですが、麻酔にはリスクが伴います。例えば麻酔薬に対するアレルギー

麻酔のリスク最小限に

(図1)喫煙による合併症のリスク

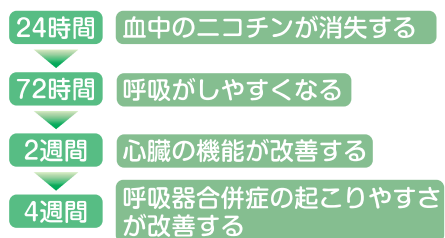


起す可能性があります(図1)。また、喫煙により術後の痛みは強まり、が

れでも100%安全と言いつてもできません。これらのリスクを最小限に抑えるために、過去に麻酔を受けた際の経験や、アレルギーの有無、サプリメントなども含めた服用している薬のリストなどを事前に伝えておきましょう。

持病も大きな影響を与えます。高血圧や糖尿病といった持病がうまくコントロールされていない場合、手術中や術後に合併症を引き起こす可能性があるため、術前にしっかりと病状を安定させることが重要です。術前の検査結果でリスクが高いと判断した場合は、手術が延期や中止になることもあります。

(図2)手術前の禁煙期間とその効果



※日本麻酔科学会
周術期禁煙ガイドラインより

人の手術の場合は術後再発率を上昇させるという報告もあります。受動喫煙もリスクになります。本数を減らしたり新型たばこに変更しても効果はありません。できるだけ早くから禁煙したほうが合併症が減ることは分かっています(図2)。そのため、手術が決まったらなるべく早く禁煙し、難しそうなら禁煙外来を紹介してもらってください。手術を受ける場合、持病のコントロール、歯科受診、禁煙などさまざまな準備が必要です。これらの準備を十分にすることで手術の「成功」する確率を高めることができます。事前の対策を徹底することで安心して手術に臨みましょう。